

まつくらとらまい

松倉虎舞

指定種別：市指定文化財

指 定 日：令和 8 年 3 月 25 日

所 在 地：釜石市甲子町

保持団体：松倉町内会

開 始：江戸時代

公開機会：松倉神社例祭



松倉虎舞は現在の甲子町第 10 地割（松倉）に伝承される虎舞です。

江戸時代に山田町の大沢から伝承されたといわれており、三陸沿岸に伝わる虎舞のひとつとして、地域の特色を示す貴重な民族芸能です。松倉虎舞は和藤内虎舞ともいわれ、演目は「しとめ」で終了します。

松倉虎舞はもともと若者衆によって踊られており、戦前から昭和 30 年代までは、松倉神社祭礼等に、松倉太神楽とともに五穀豊穰・家内安全を祈願するため奉納されていました。しかし人口減少によって地域の若者達が少なくなると、踊り手も減少し衰退していきました。

昭和 50 年代に入ると、教育振興運動が契機となって町内会活動の一環として復活すると、郷土芸能を通じた青少年の健全育成や世代間交流が活発化し、小中学校の協力を得ながら子ども達にも継承活動を行っていました。

現在は、松倉町内会が中心となって後継者育成に尽力し、釜石市郷土芸能祭や地域行事に参加する等、活動の場を広げています。こうした世代を越えた郷土芸能継承活動は、地域コミュニティの交流人口の創出にも寄与しています。

